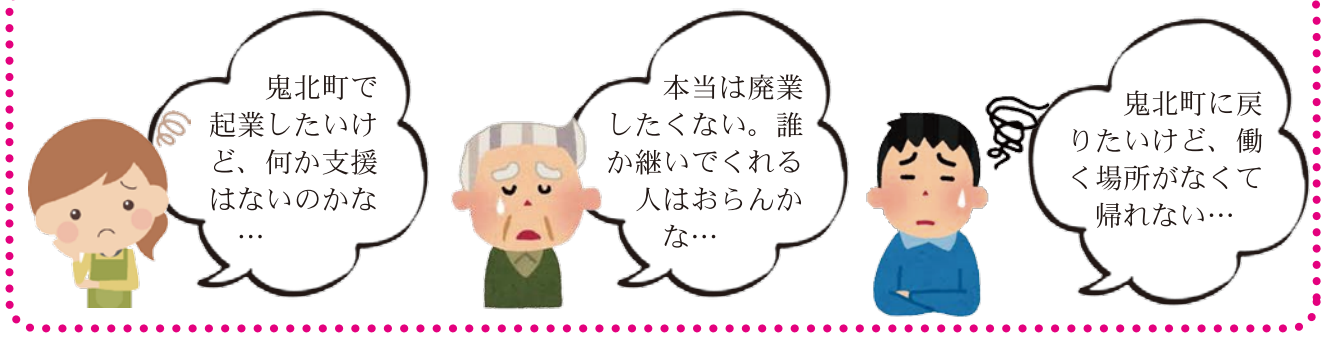


こんな悩みを抱えている方はいませんか？



ものの「後継者候補がない」が43社と3割を占めています。「自分の代で廃業を考えている」と回答した116社についても、一部には後継者がいないことが要因になっているのではないかと推測されます。

このような背景を踏まえ、雇用の受け皿となる町内企業の支援を行うことにより、地域活力の創出を図るために不可欠な経済的基盤を確保し、鬼北町民およびUターン者の地域への定着を図るための施策として「鬼の町で暮らす・働く」支援プロジェクトを企画しました。商工会をはじめとする関係機関と連携しながら、町内事業所の支援と移住定住の促進に取り組みます。

現在、町が進めている移住・定住施策と、町および商工会等が取り組んでいる事業継承への支援をマッチングさせることで、町内在住者およびUターン者の就業先が確保でき、移住定住促進と人口流失に歯止めをかけ、人手不足、後継者問題等を抱える事業所の後押しを図ります。

**継業とは**

継業とは、今まで接点のなかった移住者などの第三者に、事業を引き継ぐことを言います。

継業をすれば、地域の「なりわい」を引き継ぎつつ、移住者ならではの新たな視点によって再活性化し、地域で継続できる「なりわい」を営むことができます。

また、自分が事業から退いたあとも、意欲のある第三者によって、これまで自身が築き上げてきた「なりわい」が引き継がれていきます。

例) 食材や生活用品等を販売していた個人商店を継業し、古い家屋を活かしつつ、お店の奥にカフェスペースを新設

**取り組み② 地元企業説明会の実施(鬼北町、北宇和高校連携事業)**

町内企業および地元北宇和高校とタイアップして、高校生に対して企業の情報を的確に発信することで、地元に着住する高校生等を増やすとともに、企業における「人財」確保を図ります。

また、今後進学等で町外に転出した若者のUターン就職にも役立ててもらいます。

**内容**

北宇和高校体育館で各企業のブースを設け、高校生に事業説明を行う。

**参加対象者**

北宇和高校の生徒(2年生)および教員

**受け入れ企業**

町内に本店、支店または事業所を有する企業・法人

**実施日時**

平成30年10月12日(金)  
10時~12時

この町で営まれてきた事業所は、「地域の大切な宝」です。その貴重な地域の財産を、皆さんの若い力でより磨きをかけてみませんか。

